



西尾いきものふれあいの里だより 10月号 2026.10.1 発行

さとやま

10月の里といきもの



今年の9月は、まるで梅雨のような長雨が続きました。秋雨前線の停滞と、台風や熱帯低気圧などによる南からの湿った空気の流入、さらに海面水温の高さとエルニーニョによる大気循環の乱れなどが影響したようです。比較的気温が低かったので、最近開花が遅れ気味なヒガンバナがお彼岸にきれいに見られました。

長雨で田んぼが乾かず収穫が遅れ、稲が倒れたり、穂発芽・胴割れが起きて品質が落ちる等の影響が出ています。里の田んぼはどうなるでしょうか。

そんな里ですが、先月ご紹介したミズヒキのほかにも、タデ科の植物の花がみられます。

センターエリアや田んぼエリアでは白い小さな**シャクチリソバ**の花がたくさん咲きます。この植物は、ソバの仲間でも多年草です。花や実は食用のソバに似ています。しかし、実はえぐみが強く蕎麦として食べることはできません。インド・ブータン・ネパールの高原地帯原産で、明治時代に解毒剤薬として持ち込まれたものが野生化しました。最近では、血圧降下作用のあるルチンを含むことで注目されています



シャクチリソバ



駐車場北側やトンボの池付近の少し湿った場所では、**ボントクタデ**や**ヤノネグサ**の花がたくさん見られます。

ボントクタデは、花穂が長く垂れ下がります。香辛料に使われるヤナギタデに似ているのに辛味がないことから、間の抜けたという意味で「ボントク」と名が付けました。

ヤノネグサは、葉が「矢じり」の形をしているため「矢の根草」と呼ばれています。



ボントクタデ



ヤノネグサ



アキノウナギツカミ



ミゾソバ

田んぼエリアやトンボの里など、よく湿った場所にもピンク色の花が咲いています。

アキノウナギツカミは茎を抱くように葉がつきます。**ミゾソバ**の葉は、鉾型で牛の頭のように見えます。



ヤノネグサ



アキノウナギツカミ



ミゾソバ

この2種類は、どちらも、茎についている下向きの棘で、他のものに引っかかりながら体を支えます。アキノウナギツカミの名の由来は、その茎でウナギが掴めそうということのようです。

乾いた場所では、**イヌタデ**の花が見られます。ときどき白い花のものが見つかります。

これらは全て1年草です。こんなタデ科の花を探してみましょう。



イヌタデ



白花

10月はこないきものも見られます

里全体で見られる、キク科の多年草**ススカアザミ**は、春に咲く、茎の上に大きな花をつけるノアザミとは違い、枝分かれた茎に多数の小さめの花がつきます。

やや湿り気のある場所では、シソ科の1年草、**ヒメジソ**が群生します。淡い紫色～白色の小花が穂状に並び、シソによく似た形の葉には、ほのかにシソのような香りがします。そのような特徴が名の由来です。

田んぼエリアなどでは、キク科の1年草、**アキノノゲシ**の、背の高い茎の先に淡黄色の花をつける姿を見つけることができます。たまに若い株が越冬して翌年に花を咲かせることがあります。



ススカアザミ



ヒメジソ



アキノノゲシ



ヨメナ



ヒヨドリバナ



アサギマダラ

センター近くの、炭焼き窯の近くでは、里ではここだけに見られるキク科の多年草、**ヨメナ**が咲いています。里でたくさん見られる、よく似た野菊は**ノコンギク**です。

ビオトープ上の池や万灯山エリアでは、この時期やってくる旅をする蝶、タテハチョウ科の**アサギマダラ**が好んで訪れる、キク科の多年草**ヒヨドリバナ**の白い花が咲きます。アサギマダラは温暖化のせいか、最近飛来数が減っているように感じます。見つけたときは、職員にお知らせ頂けると嬉しいです。

万灯山山頂付近では、キキョウ科の多年草**ツリガネニンジン**とキク科の多年草**アキノキリンソウ**のお花畑が広がります。

また、キク科の多年草で、絶滅が心配されている、**オケラ**の花も見つけることができます。今年は、「貝吹のかぎ万燈」が行われなかったので、どのような変化があるのでしょうか。



ツリガネニンジン



アキノキリンソウ



オケラ

秋が深まる里で、こないきものを探して里を散策してみましょう。

9月の行事紹介



「楽しい絵手紙」の講座を9月5日（日）に開催しました。

秋雨が長く続く中、雨が心配されましたが、なんとか降らずにヒツジグサの花やアケビ・イガグリの木の実など題材集めに園内を散策することができました。送る相手へ思いをこめて、白いハガキや木の枝を切った板をキャンバスにあふれんばかりの絵を描きました。

講師の先生が参加者それぞれに用意してくれた落款印を押すと、とても素敵な作品になりました。

10月の行事予定

4日（日）	棚田でお米を作ろうⅡ（稲刈）	60名	AM 9:30～11:30	当園職員
18日（日）	棚田でお米を作ろうⅢ（脱穀）	60名	AM 9:30～11:30	当園職員

内容：実った稲をカマで刈取り、「はざ」に掛けて乾燥させ、稲穂を脱穀機にかけ粃にします。

※～棚田でお米を作ろうⅠ～Ⅲの一連の3回の講座は、参加特典として「お米」をプレゼントします。お米の量は、受講回数に応じて配付します！また、雨天等で中止した場合は、1週間後の予備日に開催します。

〔予備日：4日⇒11日・18日⇒25日〕

17日（土）	秋のきのこ観察会	20名	AM 9:30～11:30	石川まゆみ
--------	----------	-----	---------------	-------

内容：森の妖精のようなかわいいキノコたちを西尾の里山で探してみませんか？

食用、不食、毒キノコ、あなたは何種類みつけることができるかな？

11月の行事予定

1日（日）	秋のいきものを探して里山を散策しよう	20名	AM 9:30～11:30	高須桂子
-------	--------------------	-----	---------------	------

内容：秋の里山で、植物や昆虫・鳥などを観察しよう。

どんな色の木の実、草の実があるかな？

15日（日）	木の枝で壁飾りを作ろう	20名	AM 9:30～11:30	三村崇子
--------	-------------	-----	---------------	------

内容：みんなで里山のどんぐりや木の実を探しに出かけましょう。木の枝を自由に組んで、かわいい木の実たちを飾りつけて、ほっこりとした壁飾りを作りましょう。（材料費：200円）

- ◇ 参加受付は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順に受け付け、来園、または電話受付し、お申込みは本人、もしくはその同居家族までとします。なお、申込者が4名以下の場合は開講しません。
- ◇ 参加申込者は傷害保険に加入するため、小学生以上の方とします。なお、小さいお子さまをお連れいただいても構いませんが「見学扱い」とし、傷害保険の加入はありません。小さいお子さまには、目を配るのに十分な保護者の同伴をしてください。
- ◇ 当日の天候により、講座の中止・延期、または講座の内容を変更する場合があります。
- ◇ 原則、参加費は無料ですが、講座により材料費は実費を申し受けます。〔講師に直接払う〕
- ◇ 各講座の詳細な内容については、直接ネイチャーセンターにご確認ください。

西尾いきものふれあいの里ネイチャーセンター

◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆休日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始〔12/28～1/4〕 ◆発行 西尾市環境部 環境保全課